

第9回全国散居村サミット共同宣言

私たちは、築地松を持つ民家が織りなす独特の散居景観が広がる斐川町に集い、「第9回全国散居村サミット」を開催しました。

この美しい田園空間を形成する散居村や屋敷林は、その地域の自然とそこに住む人々の暮らしの中から長い歳月をかけて創られた景観であり、同時に幾世代もの先人が守り、伝えてきた貴重な文化遺産でもあります。

この先人が自然との共生を図った知恵の結晶である散居景観を地域の宝としてこだわりと誇りを持ち次世代に引き継ぐため、第9回全国散居村サミットの共同討議を終え、以下の共同宣言にまとめます。

1. 地域住民と行政がそれぞれの責任と役割を担い、美しく豊かな散居景観を次世代の人々に伝えます。
1. 農村の伝統、文化、生活、産業を大切にし、散居景観とともに暮らす人々が安心して暮らせるまちづくりを進めます。
1. 散居景観の歴史的、文化的価値についての理解を深め、全国への情報発信と交流の促進に努めます。

以上、参加した自治体間の交流と連携を深め、散居村を取り巻く諸課題に対して積極的に施策を展開します。

平成21年10月8日

岩手県奥州市長 **相原正明**

富山県砺波市長 **上田信雅**

山形県飯豊町長 **後藤幸平**

富山県高岡市長 **高橋正樹**

富山県入善町長 **米澤政明**

島根県斐川町長 **勝部勝明**